IT時事ネタキーワード「これが気になる！」(第126回)

# Google、2年放置のアカウントを削除する方針へ

2023.06.23

米Googleは5月16日、「アクティブでないアカウントに関するポリシーをアップデートした」とブログで述べた。これに関連して5月19日の「Google Japan Blog」によれば、ユーザーにオンラインで使用する製品やサービスを安全に使用してもらうためのリスク軽減措置として、無効なGoogleアカウントに関するポリシーをすべてのサービスで「2年間」へと更新したという。

## Google、悪用される危険性から2年放置のアカウントを削除へ

この流れを受け早くても2023年12月から、2年以上使用されていない、またはログインされていないGoogleアカウントとそのアカウントで使用されているコンテンツ(例えば、GmailやGoogleドキュメント、Googleドライブ、Google Meet、Googleカレンダー、YouTube、Googleフォトなど)が削除対象となる。ただし、Googleのサブスクリプションに加入している、ウォレットに残高がある、YouTubeに動画をアップしているアカウントの削除予定はないという。

具体的な変更内容は「無効なGoogleアカウントに関するポリシー」を参照してほしい。これによれば、アカウントが2年間使用されなかった場合、アカウントは無効とみなされ、アカウントとデータがすべて削除される可能性があるが、Googleは措置を講じる前に、Googleアカウントにメール通知を送信、もしくは再設定用のメールアドレス(存在する場合)に通知を送信するとしている。

こうしたアカウント削除を防ぐには、まず該当のアカウントでログインを行う。その後に「メールを読む、送信する」「Googleドライブを使用する」「YouTube動画を見る」「写真を共有する」「アプリをダウンロードする」「Google検索を使用する」の他、「「Googleでログイン」機能でサードパーティ製のアプリやサービスにログインする」、といった操作を2年間に一度以上行う必要がある。

## 筆者も以前に遭ったオークション詐欺。休眠アカウント悪用の可能性… 続きを読む